

公民館学会会員の皆様へ

『日本公民館学会年報』第12号特集「公民館構想の研究」に積極的な応募を！

担当理事 長澤成次

すでに「学会通信」No.40（2015年2月1日）において特集原稿の応募（5月20日締切）を行っているところですが、4月26日に開催された研究部会で応募の際のテーマについて以下の内容が確認されましたのでご参考にしていただけたらと思います。

○ 特集「公民館構想の研究」で考えられるテーマ

（1）「公民館構想」の歴史的再検討

公民館構想の戦前的系譜、「寺中構想」、占領と公民館、文部次官通牒、初期公民館論、優良公民館、次官通牒の地域的展開、文部省の公民館政策、全公連「公民館のあるべき姿と今日的指標」、「新しい公民館像をめざして」（東京都公民館資料作成委員会）、公民館の周年史研究、など。

（2）公民館の「現在」をめぐる課題

公民館関連法制をめぐる課題、規制緩和・行財政改革と公民館、有料化と公民館、首長部局移管と公民館の廃止、指定管理者制度と公民館、地域自治組織の再編と公民館、自治公民館論、震災と公民館、公共FM（ファシリティマネジメント）と公民館、など。

（3）新たな「公民館構想」の創造

自治体レベルでの公民館改革論、岡山コミットメントなど公民館・CLCをめぐる国際的動向、学際的な「公民館構想」の提案、「公民館構想」の比較研究、公民館学会としての新たなビジョンの提案、など。

公民館構想研究会を開催します。

5月24日（日）の午後1時からの研究担当理事による研究部会のあと、公民館構想研究のまとめの年にあたって、午後2時から4時30分まで以下の要領で開催します。ご参加ください

日時：5月24日（日）午後2時から午後4時30分

場所：筑波大学東京キャンパス 431 会議室

報告1：田所祐史（京都府立大学）「地域社会教育施設の歴史的的研究——公民館構想の歴史的再検討——」

報告2：上野景三（佐賀大学・公民館学会会長）「新たな公民館ビジョンを求めて」

司会：長澤成次（千葉大学）